

DENON

DRA-F109

ステレオレシーバー

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。詳しくは、「保証と修理について」(P.28 ページ)をご覧ください。

ご使用になる前に

お買い上げいただきありがとうございます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
必ず実施
火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグの刃および刃の付近にはほこりや金属物が付着しているときは

必ず実施
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



火や炎を近づけない

火気禁止
本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。



内部に水などの液体や異物を入れない

禁止
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水滴や水しぶきのかかるところに置かない

水ぬれ禁止
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。



ねじを外したり、分解や改造したりしない

分解禁止
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



雷が鳴り出したら

接触禁止
機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

接触禁止
使用中、使用直後は上面や高温注意マークの面には触れないでください。機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。



高温注意



乾電池は充電しない

禁止
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



風呂・シャワー室では使用しない

水場での使用禁止
火災・感電の原因となります。



この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

水ぬれ禁止
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。



必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んで使用する

禁止
本機は国内仕様です。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠️ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意
付属の電源コードを使用する
 他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
 また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
🚫 禁止
 電流量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

⚠️ 必ず実施
電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
 電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
🚫 禁止
 根元まで差し込んでみゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
 また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

🚫 禁止
電源コードを熱器具に近付けない
 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 禁止
電源プラグを抜くときは
 電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 ぬれ手禁止
濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
 感電の原因となることがあります。

🔌 電源プラグをコンセントから抜く
すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるように設置する
 電源のスイッチを切っても電源コンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるようにしてください。

⚠️ 必ず実施
機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう
 テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。

また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠️ 必ず実施
電源を入れる前には音量を最小にする
 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

🚫 禁止
長時間音が歪んだ状態で使用しない
 スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠️ 必ず実施
電池を使用するときは

- 極性表示に注意し、表示のとおりに正しく入れる。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときはお住まいの地域の条例に従って処理してください。

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

🚫 禁止
不安定な場所に置かない
 ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

🚫 禁止
この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
 特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

🚫 禁止
次のような場所には置かない
 火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

⚠️ 必ず実施
壁や他の機器から少し離して設置する
 放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

🚫 禁止
通風孔をふさがない
 内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

🚫 禁止
ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

🚫 禁止
重いものをのせない
 機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

🔌 電源プラグをコンセントから抜く
移動させるときは
 まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

🔌 電源プラグをコンセントから抜く
長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは
 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠️ 注意
5年に一度は内部の掃除を
 販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
 特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

| | |
|---------------------|----------|
| ご使用になる前に | 2 |
| 安全上のご注意 | 2 |
| 目次 | 4 |
| 使用上のご注意 | 5 |
| 付属品を確認する | 5 |
| 本書について | 5 |
| 本機の特長 | 6 |
| 準備編 | 7 |
| 接続 | 8 |
| スピーカーの接続 | 8 |
| CD プレーヤーの接続 | 9 |
| ネットワークオーディオプレーヤーの接続 | 9 |
| テレビの接続 | 9 |
| FM/AM アンテナの接続 | 10 |
| 電源コードの接続 | 11 |

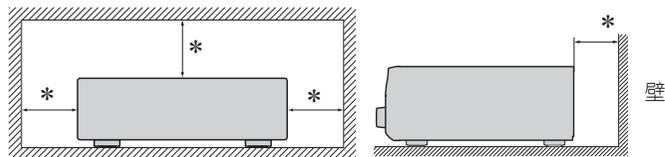
| | |
|-------------------|-----------|
| 操作編 | 12 |
| 基本操作 | 13 |
| 準備 | 13 |
| 時刻の合わせかた(24 時間表示) | 14 |
| 再生中にできる操作 | 15 |
| チューナーを聴く | 16 |
| 応用操作 | 18 |
| アラームの設定 | 18 |
| 便利な機能 | 20 |
| システム機能について | 21 |
| システム接続対応機器(別売) | 21 |
| システム機能でできること | 21 |
| システム接続のしかた | 21 |
| システム機能 | 21 |

| | |
|------------|-----------|
| 情報編 | 22 |
| 各部の名前 | 23 |
| フロントパネル | 23 |
| ディスプレイ | 23 |
| リアパネル | 23 |
| リモコン | 24 |
| 用語解説 | 26 |
| 故障かな?と思ったら | 27 |
| 保証と修理について | 28 |
| 主な仕様 | 28 |

使用上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。



* 30cm 以上

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところへ移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

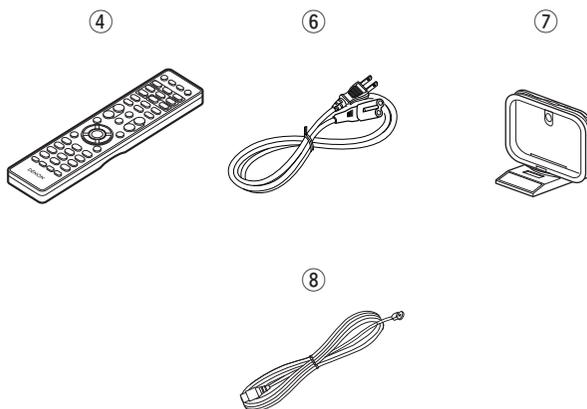
移動させるときのご注意

電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

付属品を確認する

ご使用前にご確認ください。

| | |
|------------------------------|---|
| ① 取扱説明書(本書) | 1 |
| ② 保証書(梱包箱に貼り付けています) | 1 |
| ③ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内 | 1 |
| ④ リモコン(RC-1163) | 1 |
| ⑤ 単4形乾電池 | 2 |
| ⑥ 電源コード | 1 |
| ⑦ AMループアンテナ | 1 |
| ⑧ FM室内アンテナ | 1 |



本書について

□操作説明のボタンについて

本書の操作説明は、リモコンの操作ボタンをメインに説明しています。

□マークについて

 このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

 このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

ご注意 このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

□イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

本機の特長

高音質&高出力アンプ搭載

本機には、65 W + 65 W (4ohm) の高音質・高出力なアンプ回路を搭載していますので、音楽のダイナミックな表現や、微細な表現までも再現します。

ピュアで自然な音の表現を実現するシンプル&ストレート回路思想

シンプル&ストレート回路思想は、デノンのオーディオ機器に採用されている設計思想の一つです。電気回路やさまざまな配線をシンプルに短くしていくことで、ピュアで自然な音を再現します。

ネットワークオーディオプレーヤー、CD プレーヤー、テレビなどのデジタル音声入力端子を装備

本機には、ネットワークオーディオプレーヤーやテレビの音声を入力出来るデジタル音声入力端子を装備しています。そして本機では、FLAC/WAV 192 kHz/24-bit の高音質音声ファイル*も再生します。

* 192 kHz/24-bit のデジタル音声出力に対応した機器が必要です。またこの場合には本機と同軸デジタル入力端子に接続してください。光デジタル入力端子では 192 kHz/24-bit のデジタル音声を再生できません。

タイマー機能などが設定しやすい 2 行のディスプレイを採用

本機は 2 行で表示されるディスプレイを搭載していますので、タイマーのオン、オフなどの設定が簡単に行えます。

電力消費を抑えるオートスタンバイモード

準備編

ここでは、本機の基本的な接続について説明しています。

- スピーカーの接続  8 ページ
- CD プレーヤーの接続  9 ページ
- ネットワークオーディオプレーヤーの接続  9 ページ
- テレビの接続  9 ページ
- FM/AM アンテナの接続  10 ページ
- 電源コードの接続  11 ページ

システム接続については「システム接続のしかた」(P.21 ページ) もあわせてご覧ください。

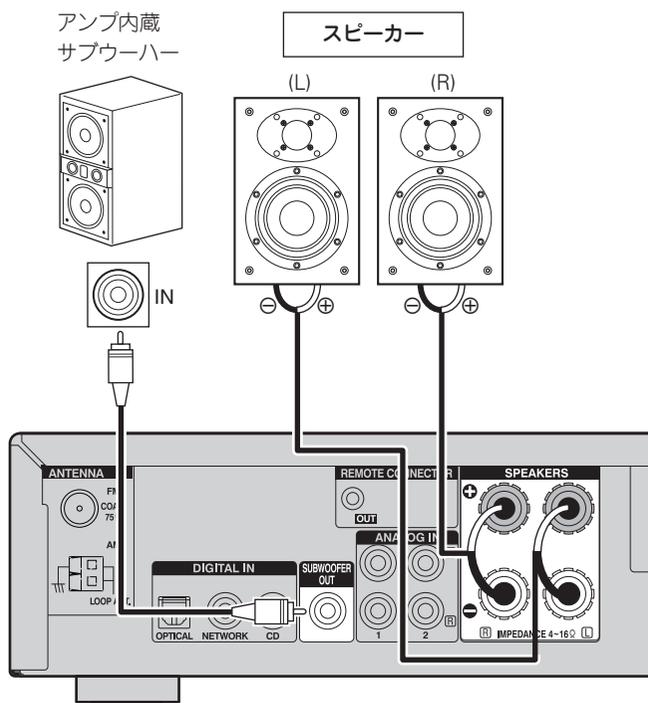
ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

接続に使用するケーブル

| 音声ケーブル(別売り) | |
|-------------|--|
| サブウーハーケーブル | |
| スピーカーケーブル | |
| 光伝送ケーブル | |
| オーディオケーブル | |
| 同軸デジタルケーブル | |

スピーカーの接続



SC-F109(スピーカーシステム：別売)をお使いになるときは、本機の最適化フィルターのご使用をおすすめします。SC-F109用の特性に調節された信号を出力します。(P.20 ページ「便利な機能」)

スピーカーケーブルを接続する

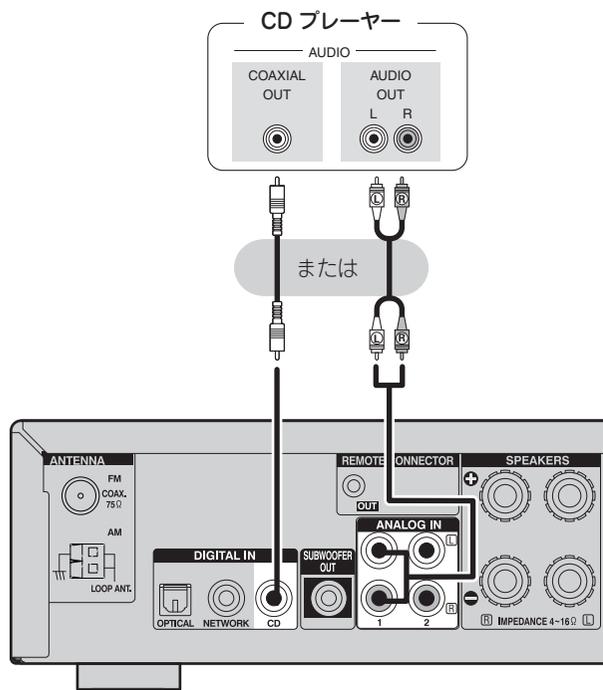
本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+(赤)、-(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理(半田付け)をおこなう。
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。
- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。
- 4 スピーカー端子を右に回してしめる。

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーは、インピーダンスが4~16Ωのものをお使いください。指定されたインピーダンス以外のスピーカーを使用した場合に、保護回路が動作することがあります(P.26 ページ「保護回路」)。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触すると、保護回路が動作します(P.26 ページ「保護回路」)。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

CD プレーヤーの接続



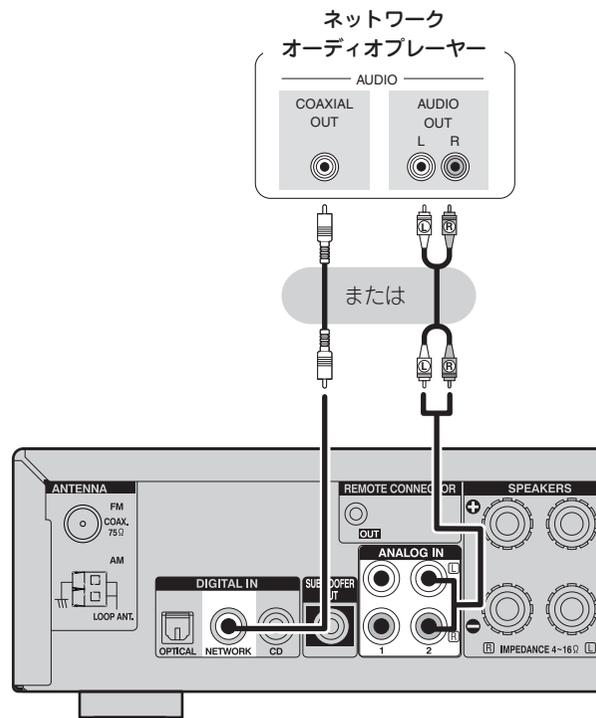
本機と DCD-F109 (CD プレーヤー：別売) を接続するときは上記の接続のほかに、システム接続をおこなってください。本機のリモコンでの操作や、各種システム機能が有効になります。

([P.21](#) ページ「システム機能について」)



本機に DCD-F109 を接続する場合は、同軸デジタルケーブルで接続してください。

ネットワークオーディオプレーヤーの接続



本機と DNP-F109 (ネットワークオーディオプレーヤー：別売) を接続するときは上記の接続のほかに、システム接続をおこなってください。

本機のリモコンでの操作や、各種システム機能が有効になります。

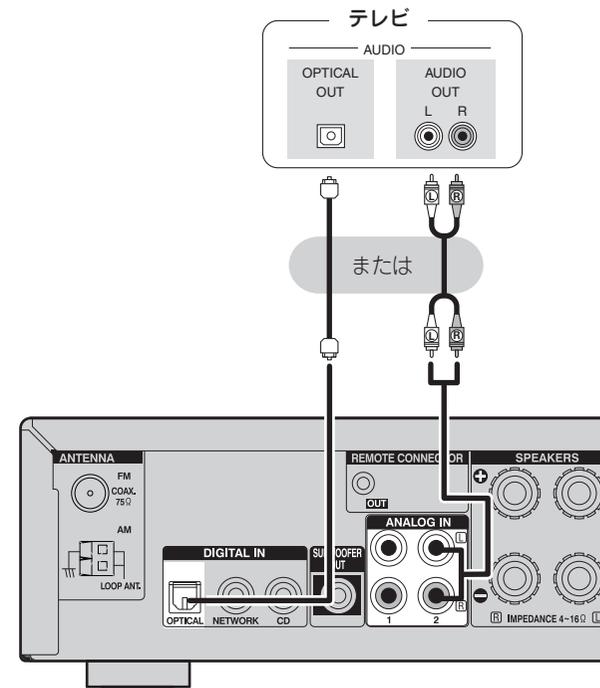
([P.21](#) ページ「システム機能について」)



本機に DNP-F109 を接続する場合は、同軸デジタルケーブルで接続してください。

テレビの接続

- 接続する機器に合わせて端子を選び、接続してください。
- 本機を通してテレビの音声を聞く場合は、デジタル出力端子 (OPTICAL) に接続してください。



ご注意

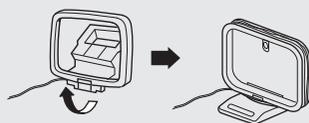
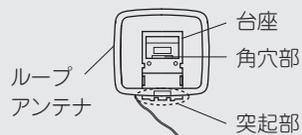
- 本機の DIGITAL IN (OPTICAL) 端子で入力できるデジタル音声信号は 2 チャンネルリニア PCM のみです。
- 2 チャンネルリニア PCM 信号以外のデジタル音声信号を本機に入力する場合は、TV のデジタル音声出力設定を 2 チャンネル PCM に設定してください。詳しくは TV の取扱説明書をご覧ください。

FM/AM アンテナの接続

- 本機に付属の FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続すると、FM および AM 放送を楽しむことができます。
- アンテナを接続したあとに放送を受信し (P.16 ページ「チューナーを聴く」)、雑音の少ない位置にテープなどで固定してください。

□AM ループアンテナの組み立てかた

- 1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。
- 2 突起部を台座の角穴部に差し込む。



□AM ループアンテナの使いかた

壁にかけて使う

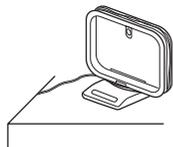
組み立てずにそのままお使いください。



くぎや画びょうなど

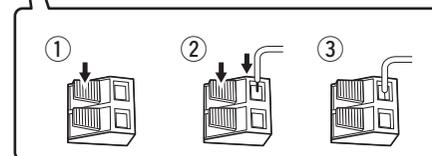
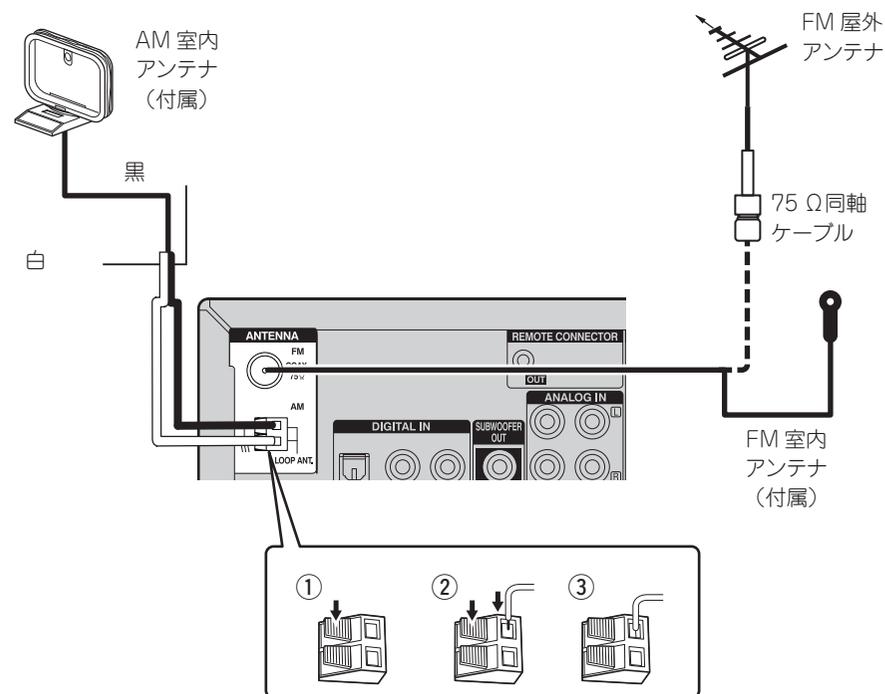
置いて使う

上図のように組み立ててお使いください。



ご注意

- 2つの FM アンテナを同時に接続しないでください。
- FM や AM の受信感度は、アンテナの設置場所や設置方向によって変わります。最もよく受信できるところに設置してください。
- AM ループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないかご確認ください。
- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- AM 屋外アンテナを接続時も AM ループアンテナを接続してください。
- ケーブルテレビにご加入の場合は、ケーブルテレビのアンテナで FM 放送を受信できる場合があります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

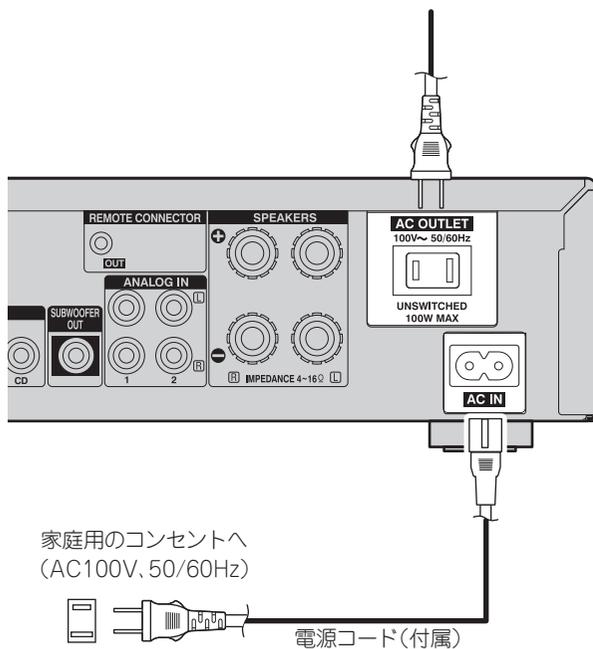


電源コードの接続

すべての接続が終わってから電源コードを接続してください。

AC アウトレットへの接続について

UNSWITCHED(容量 100W) :
本体の電源ボタンとは連動しません。消費電力が
100W 以下の機器を接続してください。



ご注意

- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 付属の電源コード以外は、使用しないでください。
- 本機の AC IN の電源コードの抜き差しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。
- AC アウトレットは、オーディオ機器用です。ヘッドライヤーなどのオーディオ機器以外には使用しないでください。

操作編

ここでは、本機をより使いこなすことができる操作について説明しています。

- 準備  13 ページ
- 時刻の合わせかた(24 時間表示)  14 ページ
- 再生中にできる操作  15 ページ
- チューナーを聴く  16 ページ
- アラームの設定  18 ページ
- 便利な機能  20 ページ
- システム接続対応機器(別売)  21 ページ
- システム機能でできること  21 ページ
- システム接続のしかた  21 ページ
- システム機能  21 ページ

□ 電源を入れる (13 ページ)

□ 時刻の合わせかた(24 時間表示) (14 ページ)

□ 入力ソースを選ぶ (15 ページ)

□ 主音量を調節する (15 ページ)

□ 音質を調節する (15 ページ)

□ 一時的に音を消す(ミュートイング)
(15 ページ)

□ ディスプレイの明るさを切り替える
(15 ページ)

□ チューナーを聴く (16 ページ)

□ 応用操作 (18 ページ)

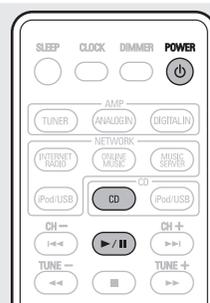
□ システム機能について (21 ページ)

準備

電源を入れる

POWER 電源ボタンを押す。

- 電源が入ります。
もう一度押すとスタンバイ状態になります。
- 電源表示について
スタンバイ 消灯
電源オン 緑色
アラーム設定時 オレンジ色



- 電源を入れると、前回使用していたときのファンクションになります (20 ページ「ラストファンクションメモリー」)。
- スタンバイ状態になると約 30 秒後に低消費電力モードに切り替わります。



電源がスタンバイ状態の場合、次のボタンを押しても電源が入りません。

- 本体の **電源** ボタン、または **PRESET CALL**
- リモコンの **TUNER**, **DIGITAL IN** または **ANALOG IN**

ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**POWER** 電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源を完全に切るには

電源コードを壁のコンセントから抜く。

- 電源コードをコンセントから抜くと、時刻設定が解除されますのでご注意ください。
- 長期に渡り電源コードをコンセントから抜いた状態にいると、各ファンクションで設定した設定内容が消えてしまうことがあります。

時刻の合わせかた(24 時間表示)

1 POWER 電源ボタンを押して、電源をオンにする。

2 SYSTEM SETUP ボタンを押す。
各種設定メニューを表示します。

3 △ または ▽ ボタンで“CLOCK SETUP”を選び ENTER または ▷ ボタンを押す。



SETUP
CLOCK SETUP

4 △ または ▽ ボタンで“時”を設定する。



CLOCK SETUP
10:00

5 ENTER または ▷ ボタンを押す。
分表示が点滅します。

6 △ または ▽ ボタンで“分”を設定する。



CLOCK SETUP
10:15

7 ENTER または ▷ ボタンを押す。
現在時刻が確定し、もとの表示に戻ります。



□電源がオンのときに現在時刻を確認するには

CLOCK ボタンを押す。
もう一度押すともとの表示に戻ります。

□電源がスタンバイの時に現在時刻を確認するには

CLOCK ボタンを押す。
10 秒間、現在時刻を表示します。

ご注意

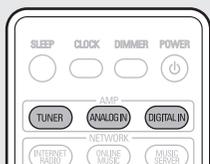
スタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

再生中にできる操作

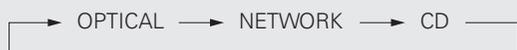
入力ソースを選ぶ

再生する入力ソース選択ボタン (TUNER、ANALOG IN または DIGITAL IN*) を押す。

入力ソースをダイレクトに選べます。



* DIGITAL IN を押すと、次の順番で切り替わります。

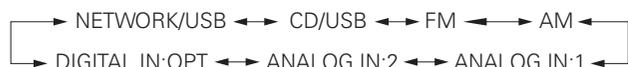


次の操作方法でも入力ソースを選ぶことができます。

□ 本体の操作で入力ソースを選ぶ

SOURCE を回す。

• SOURCE を回すと、入力ソースが次の順序で切り替わります。



主音量を調節する

VOLUME ▲▼ を押して、音量を調節する。

音量を表示します。

【可変できる範囲】

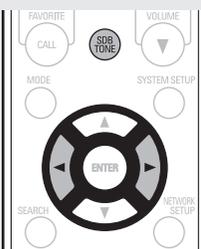
00 - 59 , MAX



本体の VOLUME を回しても、主音量を調節できます。

音質を調節する

1 SDB TONE ボタンで調節する音質を選ぶ。



2 ◀, ▶ ボタンで音質を調節する。

- 続けて他の音質を調節するには、SDB TONE ボタンを押します。
- 約 5 秒間操作をしないと調節した状態を保持して、通常の表示に戻ります。

SDB : 低音を強調します (スーパーダイナミックバス)。

【選択できるモード】 ON - OFF

BASS : 低音を調節します。

【可変できる範囲】 -10dB - +10dB

TREBLE : 高音を調節します。

【可変できる範囲】 -10dB - +10dB

BALANCE : 左右の音量バランスを調節します。

【可変できる範囲】 +L6 - CENTER - +R6

左チャンネルを調節したいときは ◀ ボタンを、右チャンネルを調節したいときは ▶ ボタンを押します。

S.DIRECT : 音質の調節をおこないません。

お買い上げ時の設定 :

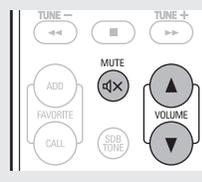
- SDB OFF
- BASS 0dB
- TREBLE 0dB
- BALANCE CENTER



SDB と BASS は、一緒に設定できます。

一時的に音を消す (ミュートイング)

MUTE ◀× ボタンを押す。
“MUTE ON” を表示します。

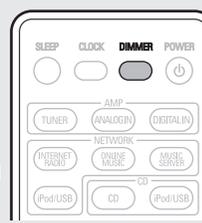


解除するときは、もう一度 MUTE ◀× ボタンを押してください。

(VOLUME ▲▼ ボタンを押しても解除できます。)

ディスプレイの明るさを切り替える

DIMMER ボタンを押す。



• 押すたびにディスプレイの明るさが切り替わります。



システム接続をしている場合は、すべての機器の明るさを切り替えます。

チューナーを聴く

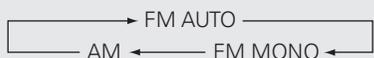
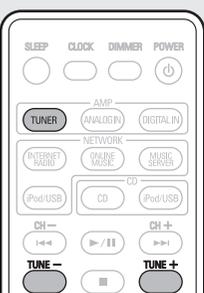
放送局を受信する

あらかじめアンテナを接続してください(10 ページ)。

1 TUNER ボタンを押して、受信バンドを選ぶ。

【ディスプレイ表示について】

- FM AUTO のとき
..... “AUTO” を表示します。
- FM MONO のとき
..... “MONO” を表示します。
- AM のとき
..... 受信モードを表示しません。



- 受信バンドのモードが“FM AUTO”のときに、ステレオ放送を受信すると、“ST”表示が点灯します。

2 TUNE -, TUNE + ボタンを押して、受信周波数を選ぶ。

受信すると、“TUNED”表示が点灯します。



- ファンクションが“FM”以外のときに TUNER ボタンを押すと“FM”に切り替わります。
- 電波が弱く、安定したステレオ受信ができないときは、受信バンドのモードを“FM MONO”にして、モノラル受信にしてください。

□オートチューニングするには

TUNE -, TUNE + ボタンを長押しすると、自動的に放送局を受信します。

- ただし、電波が弱い放送局は受信できません。

□オートチューニングを停止するには

TUNE -, TUNE + ボタンを押す。



AM 放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ピー”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

FM 放送局を自動的にプリセットする (オートプリセット)

最大 40 局プリセットできます。

ご注意

AM 放送局はオートプリセットできません。

□リモコンでのオートプリセットのしかた

この操作は FM 放送局の受信中におこなってください。

1 SEARCH ボタンを押す。

2 “PRESS ENTER” の点滅中に ENTER ボタンを押す。

放送局を自動的にプリセットします。



□オートプリセットを途中で止めるには

TUNER または ■ ボタンを押す。



アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。

ご注意

オートプリセットをおこなうと、それまでに登録していたプリセット内容を消去します。新しくプリセットする FM 放送局が、その消去されたプリセット番号に新たに登録されます。

□プリセットしたチャンネルに放送局名を付ける

最大 8 文字まで入力できます。

1 名前を付けるプリセットチャンネルを受信する。

2 ENTER ボタンを 2 回押す。

ディスプレイが放送局名入力表示になります。



3 放送局名を入力する。

最大 8 文字まで入力できます。

- 0 ~ 9 ボタン 文字を選びます。
- △, ▽ ボタン 文字を選びます。
- ▷ ボタン カーソルを右に移動します。
- CLEAR ボタン 選択中の文字を消去します。
- 入力できる文字

A~Z, 0~9, ^ ' () * + , - . / = (スペース)

4 ENTER ボタンを押す。

文字の入力を確定します。

- 続けてプリセットをおこなうときは、手順 1~4 をくり返してください。

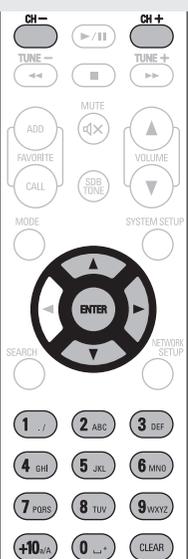
FM/AM 放送局をマニュアルでプリセットする

FM/AM 合わせて最大 40 局までプリセットできます。

1 プリセットする放送局を受信する。

2 **ENTER** ボタンを押す。
未登録プリセットの最小番号表示“P--”が点滅します。

3 **0 ~ 9, +10** または **CH -**、**CH +** ボタンでプリセットする番号を選び、**ENTER** ボタンを押す。
受信周波数と受信モードをプリセットし、ディスプレイが放送局名入力表示になります。



4 放送局名を入力する。
最大 8 文字まで入力できます。

- **0 ~ 9, +10** ボタン 文字を選びます。
- **△, ▽** ボタン 文字を選びます。
- **▷** ボタン カーソルを右に移動します。
- **CLEAR** ボタン 選択中の文字を消去します。

• 入力できる文字

A~Z, 0~9, ^ ' () * + , - . / = (スペース)

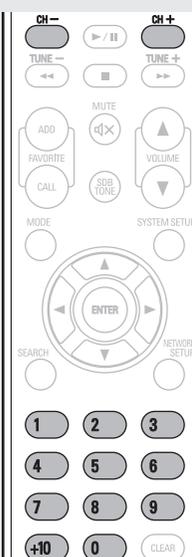
- 放送局名を入れないときは、何も入力せず **ENTER** ボタンを押してください。
- 間違えて入力したときは、再度おこなってください。上書きします。

5 **ENTER** ボタンを押す。
文字の入力を確定します。

- 続けてプリセットをおこなうときは、手順 1~5 をくり返してください。

プリセットした放送局を聴く

0 ~ 9, +10 または **CH -**、**CH +** ボタンでプリセット番号を選ぶ。



本体の PRESET CALL ボタンで操作をおこなう

本体の **PRESET CALL** ボタンでプリセットチャンネルの切り替えができます。

□ 基本操作 (13 ページ)

□ アラームの設定 (18 ページ)

□ 便利な機能 (20 ページ)

□ システム機能について (21 ページ)

アラームの設定

エブリディアラーム、ワンスアラームおよびスリープタイマーの設定ができます。

アラームの優先順位

アラームの設定時刻の範囲が重なったときの優先順位は次の通りです。

- 1 スリープタイマー
- 2 ワンスアラーム
- 3 エブリディアラーム



現在時刻が未設定のときにアラーム設定モードに入ると、時刻設定モードになります。

アラームを設定する

- エブリディアラーム(“EVERY DAY”)

毎日設定した時刻に、再生と終了(電源スタンバイ)をおこないます。
- ワンスアラーム(“ONCE”)

1 回のみ、設定した時刻に再生と終了(電源スタンバイ)をおこないます。

1 SYSTEM SETUP ボタンを押す。

2 △, ▽ ボタンで“ALARM SETUP”を選び、ENTER または ▷ ボタンを押す。

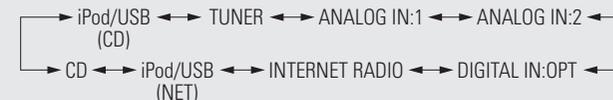
3 △, ▽ ボタンでアラームモードを選び、ENTER または ▷ ボタンを押す。

MODE SELECT
ONCE ALARM
ONCE ↔ EVERYDAY



4 △, ▽ ボタンでソース選び、ENTER または ▷ ボタンを押す。

SOURCE SELECT
CD



ファンクションで“TUNER”を選んだときのみ

5 △, ▽ ボタンでプリセット番号を選び、ENTER または ▷ ボタンを押す。

- 選択したプリセット番号に名前が登録されていない場合は、プリセット番号が表示されたあとに周波数を表示します。

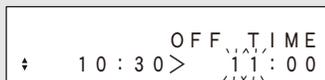
6 △, ▽ ボタンでアラーム開始時刻の“時”を選び、ENTER または ▷ ボタンを押す。

ON TIME
10:00 00:00

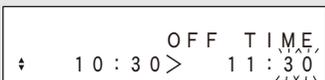
7 △, ▽ ボタンでアラーム開始時刻の“分”を選び、ENTER または ▷ ボタンを押す。

ON TIME
10:30 00:00

- 8 △, ▽ ボタンでアラーム終了時刻の“時”を選び、**ENTER** または ▷ ボタンを押す。



- 9 △, ▽ ボタンでアラーム終了時刻の“分”を選び、**ENTER** または ▷ ボタンを押す。



- 10 ◀, ▶ ボタンでアラームの“ON”または“OFF”を選び、**ENTER** ボタンを押す。

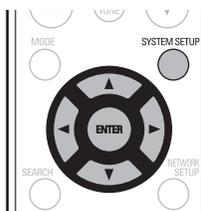
- “L”表示が点灯し、アラーム設定が確定します。
- 3秒間、アラーム設定の内容を表示します。



- 11 **POWER** ⏻ を押して電源をスタンバイにする。
アラームスタンバイモードになり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

□アラームのオン / オフを設定するには

- ① **SYSTEM SETUP** ボタンを押す。
- ② △, ▽ ボタンで“ALARM ON/OFF”を選び、**ENTER** ボタンを押す。
- ③ △, ▽ ボタンで“ONCE”または“EVERY DAY”を選ぶ。
- ④ ◀, ▶ ボタンでアラームの“ON”または“OFF”を選び、**ENTER** ボタンを押す。続けてアラーム設定の内容を表示します。



- “OFF” にすると、アラーム動作が無効になりますが、アラームの設定内容はそのまま残ります。

□アラーム設定の内容を確認するには

- ① **SYSTEM SETUP** ボタンを押す。
- ② △, ▽ ボタンで“ALARM ON/OFF”を選び、**ENTER** ボタンを押す。
- ③ アラーム設定の“ON”を表示したら、**ENTER** ボタンを押す。
3秒間、アラーム設定の内容を表示します。

□アラーム設定の内容を変更するには

「アラームを設定する」(P.18 ページ) の操作をおこなってください。

□アラーム設定中に設定を変更するには

◀ ボタンを押す。
ひとつ前の設定に戻ります。変更したい設定を表示させてから、設定をおこなってください。

スリープタイマーを設定する

設定した時間後に、自動的に電源をスタンバイ状態にします。
10分間隔で最大90分まで設定できます。

再生中に **SLEEP** ボタンを押して、設定時間を選ぶ。



- 約5秒後、設定を確定してもとの表示に戻ります。

□スリープタイマーを解除するには

SLEEP ボタンを押して“SLEEP OFF”を選ぶか、**POWER** ⏻ ボタンを押す。



□スリープタイマーが動作するまでの時間を確認するには

SLEEP ボタンを押す。

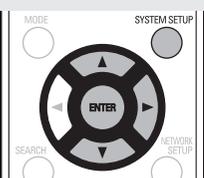
スピーカーシステム SC-F109(別売) 専用の最適化フィルターを設定する

本機のスピーカー出力信号特性を SC-F109 に最適になるように設定します。

1 SYSTEM SETUP ボタンを押す。

2 △, ▽ ボタンで“SPK OPTIMISE”を選び、ENTER または ▷ ボタンを押す。

3 △, ▽ ボタンで“ON”を選び、ENTER または ▷ ボタンを押す。
設定が確定します。



オートスタンバイ

オートスタンバイをオンにして、30 分間操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイモードになります。

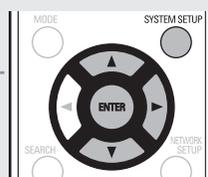
入力ソースが“ANALOG IN 1”と“ANALOG IN 2”の場合のみ、本機を 8 時間操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。

• お買い上げ時のオートスタンバイ機能の設定はオフです。

1 SYSTEM SETUP を押す。

2 △▽ で“AUTO STANDBY”を選び、ENTER または ▷ を押す。

3 △▽ で“ON”を選び、ENTER または ▷ を押す。
設定が確定します。



ご注意

次のときはオートスタンバイ機能ははたらきません。

• ソースが“TUNER”のとき

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。

再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

システム機能について

ご注意

従来モデルとの互換性はございませんので、本機とシステムケーブルで接続しないでください。

システム接続対応機器(別売)

DCD-F109(CD プレーヤー)

DNP-F109(ネットワークオーディオプレーヤー)

システム機能でできること

本機と DCD-F109(CD プレーヤー：別売) および DNP-F109(ネットワークオーディオプレーヤー：別売) をシステム接続すると、次の操作ができます。

□本機のリモコンで DCD-F109 および DNP-F109 の操作ができます。

(☞24 ページ「システム接続をしている機器を操作するボタン」)

□オートパワーオン機能

(☞21 ページ「システム機能」)

□オートファンクション機能

(☞21 ページ「システム機能」)

□アラーム機能

(☞21 ページ「システム機能」)

□オートスタンバイ機能

(☞21 ページ「システム機能」)

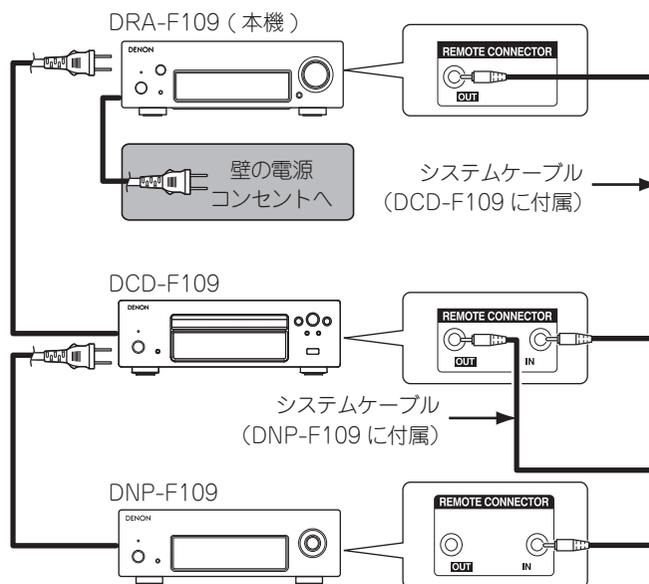
システム接続のしかた

オーディオケーブルの接続のほかに、システムケーブルを接続してください。

また、DCD-F109(CD プレーヤー：別売)の電源コードは、本機(DRA-F109)の AC アウトレットに接続してください。そして、DNP-F109(ネットワークオーディオプレーヤー：別売)の電源コードは、DCD-F109(CD プレーヤー：別売)の AC アウトレットに接続してください。

ご注意

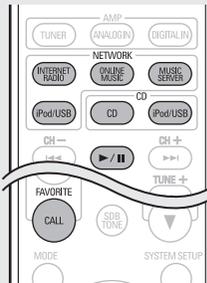
本機(DRA-F109)の電源コードは必ず壁の電源コンセントに差し込んでください。



システム機能

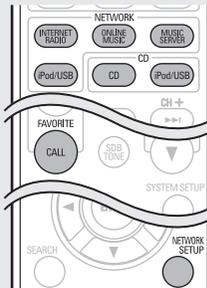
オートパワーオン機能

▶/||, INTERNET RADIO, ONLINE MUSIC, MUSIC SERVER, iPod/USB (NETWORK), CD, iPod/USB (CD) または FAVORITE CALL を押すと各機器の電源が入り、DRA-F109 のソースが自動的に切り替わります。•▶/|| を押した場合は、最後に選択していたソースを再生します。



オートファンクション機能

INTERNET RADIO, ONLINE MUSIC, MUSIC SERVER, iPod/USB (NETWORK), CD, iPod/USB (CD) FAVORITE CALL または NETWORK SETUP を押すと、DRA-F109 のソースが自動的に切り替わります。•現在再生中のソースは停止します。



アラーム機能

本機のアラーム機能を使用して、設定された時間に再生をおこなうことができます。•詳しくは、「アラームの設定」(☞18 ページ)をご覧ください。

オートスタンバイ機能

DRA-F109, DCD-F109 または DNP-F109 のいずれかのオートスタンバイ機能を“オン”に設定すると、F109 システム全体にオートスタンバイ機能が動きます。

✎ オートスタンバイ機能については 20 ページをご覧ください。

情報編

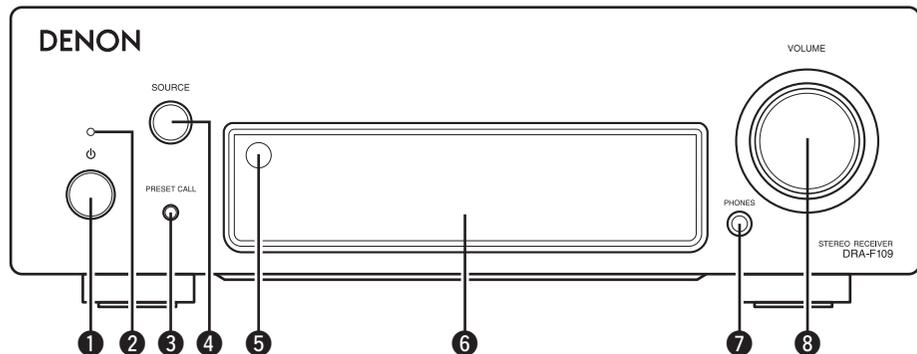
ここでは本機に関するさまざまな情報を記載しています。
必要に応じてご覧ください。

- 各部の名前  23 ページ
- 用語解説  26 ページ
- 故障かな?と思ったら  27 ページ
- 主な仕様  28 ページ
- 索引  29 ページ

各部の名前

フロントパネル

各部の詳しい説明については、()内のページを参照してください。



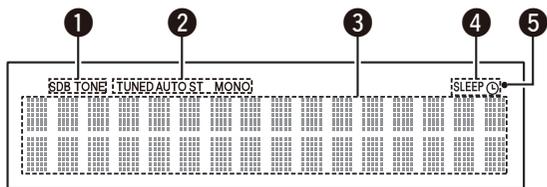
- ① 電源ボタン (1) (13)
- ② 電源表示 (13)
- ③ プリセット呼び出しボタン (PRESET CALL) (17)
- ④ ソース切り替えつまみ (SOURCE) (15)
- ⑤ リモコン受光部 (26)
- ⑥ ディスプレイ
- ⑦ ヘッドホン端子 (PHONES) (15)
ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカー端子から音が出なくなります。
- ⑧ 音量調節つまみ (VOLUME) (15)

ご注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

ディスプレイ

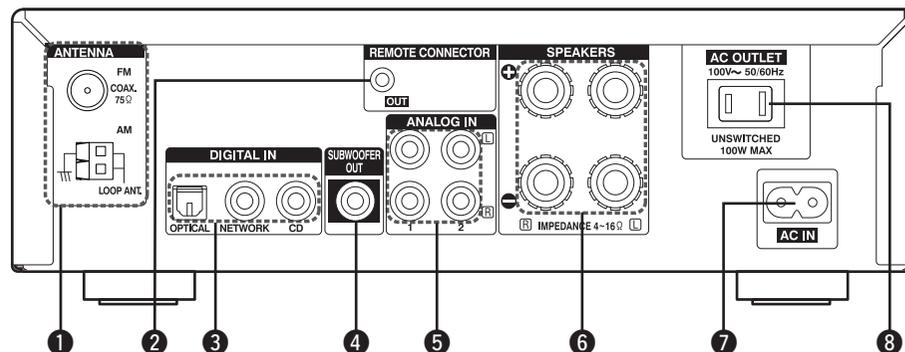
各部の詳しい説明については、()内のページを参照してください。



- ① 音質表示 (15)
SDB：スーパーダイナミックバスが“ON”のときに点灯します。
TONE：音質(低音 / 高音)を調節しているときに点灯します。
- ② チューナー受信モード表示 (16)
- ③ インフォメーションディスプレイ
いろいろな情報を表示します。
- ④ タイマー動作表示
- ⑤ リモコン信号受信表示

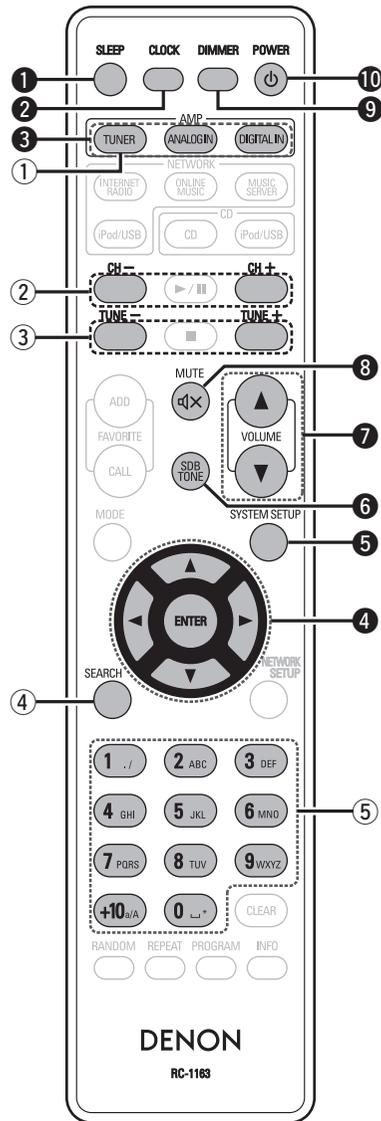
リアパネル

各部の詳しい説明については、()内のページを参照してください。



- ① FM/AMアンテナ端子 (ANTENNA) (10)
- ② リモート端子 (REMOTE CONNECTOR) (21)
- ③ デジタル音声端子 (DIGITAL IN) (9)
- ④ サブウーハー出力端子 (SUBWOOFER OUT) (8)
- ⑤ アナログ音声端子 (ANALOG IN) (9)
- ⑥ スピーカー端子 (SPEAKERS) (8)
- ⑦ AC インレット (AC IN) (11)
- ⑧ AC アウトレット (AC OUTLET) (11)

本機を操作するボタン



アンプの操作

どのファンクションでも次のボタンの操作ができます。

- ① スリープボタン(SLEEP).....(19)
- ② クロックボタン(CLOCK).....(14)
- ③ ソースボタン(AMP).....(15)
- ④ カーソルボタン(△▽◀▶).....(14, 18)
エンターボタン(ENTER).....(14, 18)
- ⑤ システムセットアップボタン
(SYSTEM SETUP).....(14, 18)
- ⑥ SDB TONEボタン.....(15)
- ⑦ 音量調節ボタン(▲▼).....(15)
- ⑧ ミュートボタン(⊘).....(15)
- ⑨ ディマーボタン(DIMMER).....(15)
- ⑩ 電源ボタン(⏻).....(13)

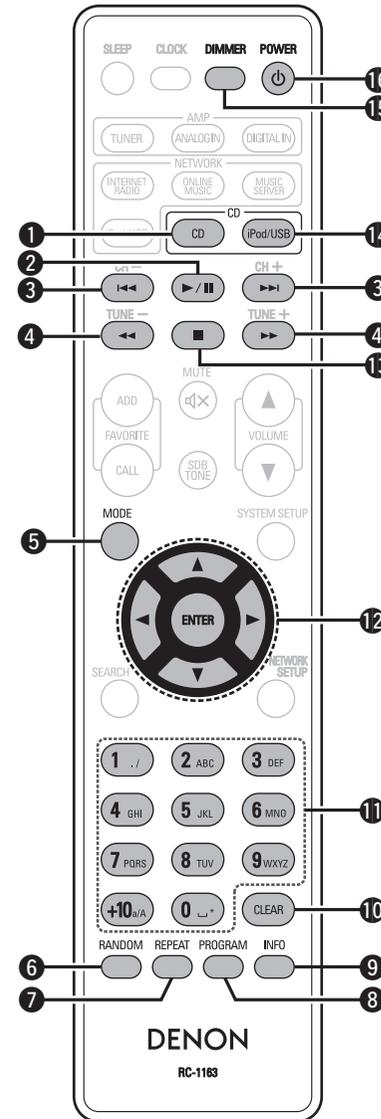
チューナーの操作

ファンクションが“FM” および“AM” のときに次のボタンの操作ができます。

- ① ソースボタン(TUNER).....(16)
- ② プリセットチャンネルボタン
(CH+/-).....(17)
- ③ 選局ボタン
(TUNE+/TUNE-).....(16)
- ④ サーチボタン(SEARCH).....(16)
- ⑤ 番号ボタン(0~9,+10).....(17)

システム接続をしている機器を操作するボタン

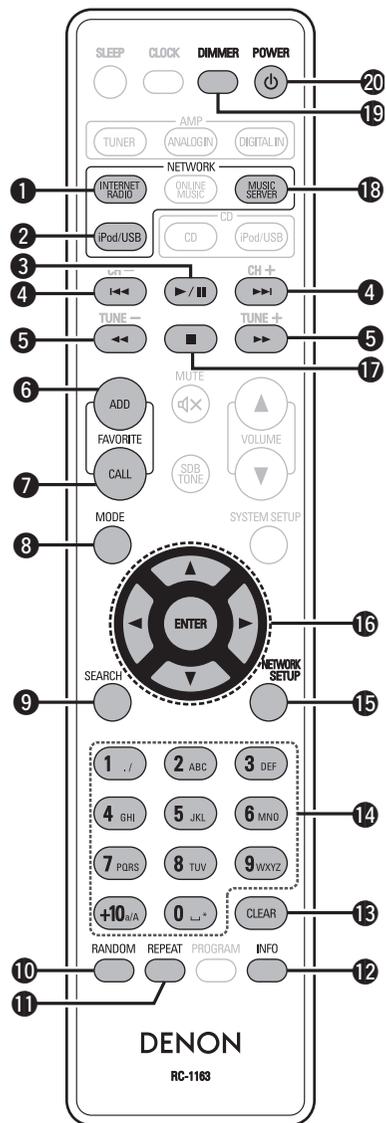
システム機能および操作できる機器については「システム機能について」(P.21 ページ) をご覧ください。



CD の操作

ファンクションが“CD/USB”のときに次のボタンの操作ができます。

- ① ソースボタン(CD)
- ② 再生/一時停止ボタン(▶/⏸)
- ③ スキップボタン(◀◀/▶▶)
- ④ サーチボタン(◀◀/▶▶)
- ⑤ モードボタン(MODE)
- ⑥ ランダムボタン(RANDOM)
- ⑦ リピートボタン(REPEAT)
- ⑧ プログラムボタン(PROGRAM)
- ⑨ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑩ クリアボタン(CLEAR)
- ⑪ 番号ボタン(0~9,+10)
- ⑫ カーソルボタン(△▽◀▶)
エンターボタン(ENTER)
- ⑬ 停止ボタン(■)
- ⑭ ソースボタン(iPod/USB)
- ⑮ ディマーボタン(DIMMER)
- ⑯ 電源ボタン(⏻)



ネットワークオーディオプレーヤーの 操作

ファンクションが“NETWORK/USB”のときに次のボタンの操作ができます。

- ① インターネットラジオボタン (INTERNET RADIO)
- ② ソースボタン (iPod/USB)
- ③ 再生/一時停止ボタン (▶/||)
- ④ スキップボタン (◀◀/▶▶)
- ⑤ サーチボタン (◀◀/▶▶)
- ⑥ お気に入り登録ボタン (FAVORITE ADD)
- ⑦ お気に入り呼び出しボタン (FAVORITE CALL)
- ⑧ モードボタン (MODE)
- ⑨ サーチボタン (SEARCH)
- ⑩ ランダムボタン (RANDOM)
- ⑪ リピートボタン (REPEAT)
- ⑫ インフォメーションボタン (INFO)
- ⑬ クリアボタン (CLEAR)
- ⑭ 番号ボタン (0~9, +10)
- ⑮ ネットワークセットアップボタン (NETWORK SETUP)
- ⑯ カーソルボタン (△▽◀▶) エンターボタン (ENTER)
- ⑰ 停止ボタン (■)
- ⑱ ミュージックサーバーボタン (MUSIC SERVER)
- ⑲ ディマーボタン (DIMMER)
- ⑳ 電源ボタン (⏻)

ご注意

本機では、**ONLINE MUSIC** ボタンは使用できません。

リモコンでできること

□本機の実操作

□本機とシステム接続している機器の操作

本機と次の機器 (別売) をシステムケーブルで接続すると、本機が受信したリモコン信号を各機器に伝達し、機器の操作をおこないます。

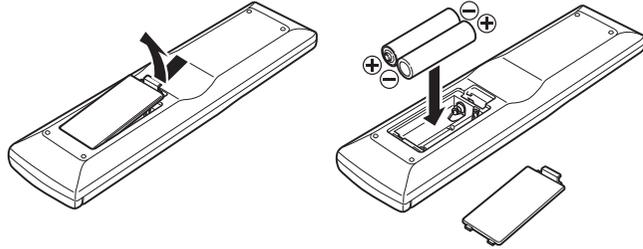
- DCD-F109 (CD プレーヤー)
- DNP-F109 (ネットワークオーディオプレーヤー)



システム接続については「システム機能について」(P.21 ページ) をご覧ください。

乾電池の入れかた

- ① 矢印方向に裏ぶたをずらして外す。
- ② 単 4 形乾電池(2 本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



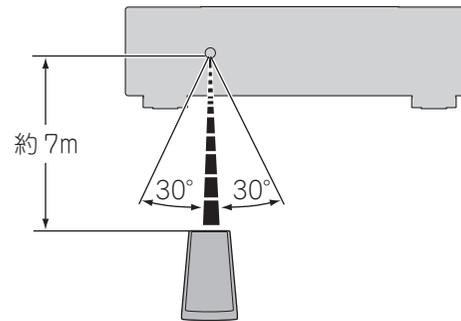
- ③ 裏ぶたを元通りにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。(付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。)
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例にしたがって処理をしてください。
- 充電式電池をお使いの場合、正しく動作しない場合があります。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。



ご注意

- リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。
- 3D 映像機器を構成している各ユニット(モニター、3D 視聴用メガネ、3D 信号伝送ユニットなど)間の信号の伝送を無線通信(赤外線通信など)でおこなっている 3D 映像機器をお使いの場合、その無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。そのときは 3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。

用語解説

さ行

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことでΩ(オーム)という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

は行

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。本機では、異常発生時には電源表示が点滅し、スタンバイ状態になります。

故障かな？と思ったら

□ 各接続は正しいですか

□ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

□ スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客さま相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

| 症状 | 原因 | 対策 | 関連ページ |
|---------------------------|--|--|-------|
| 電源を入れても電源表示が点灯せず、音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 電源コードの差し込みが不完全である。 | <ul style="list-style-type: none"> 本機のリアパネルおよび電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。 | 11 |
| 電源表示は点灯するが音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> スピーカーケーブル接続が不完全である。 | <ul style="list-style-type: none"> しっかり接続してください。 | 8 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ファンクションが再生したい入力ソースに切り替えられていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 正しいファンクションに切り替えてください。 | 15 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 音量調節つまみを絞っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 適当な位置まで回してください。 | 15 |
| 片側だけ音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> スピーカーケーブル接続が不完全である。 | <ul style="list-style-type: none"> しっかり接続してください。 | 8 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 入力ケーブルの接続が不完全である。 | <ul style="list-style-type: none"> しっかり接続してください。 | 9 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 左右のバランスがずれている。 | <ul style="list-style-type: none"> 左右のバランスを調節してください。 | 15 |
| ステレオのときに、各楽器の位置が入れ替わっている。 | <ul style="list-style-type: none"> スピーカーケーブルまたは入力ケーブルの接続が逆になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 接続を確かめてください。 | 8, 9 |

【リモコン】

| 症状 | 原因 | 対策 | 関連ページ |
|----------------------|--|---|-------|
| リモコンを操作しても、正常に動作しない。 | <ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗している。 | <ul style="list-style-type: none"> 新しい乾電池と交換してください。 | 26 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 本体から離れすぎているか、角度が良くない。 | <ul style="list-style-type: none"> リモコンは、本機から約7メートルおよび30°以内の範囲で操作してください。 | 26 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 本機とリモコンの間に障害物がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 障害物を取り除いてください。 | - |
| | <ul style="list-style-type: none"> 乾電池の⊕と⊖が正しくセットされていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 正しい極性でセットしてください。 | 26 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバータ式蛍光灯の光など）が当たっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。 | 26 |

【チューナー】

| 症状 | 原因 | 対策 | 関連ページ |
|-------------------------|--|---|---------|
| FM放送に“ザー”という雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブルが正しく接続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブルを正しく接続してください。 | 10 |
| | <ul style="list-style-type: none"> マイコンを搭載した電子機器などから雑音が入っている。または、受信している放送局の電波が弱い。 | <ul style="list-style-type: none"> 機器の配置や接続ケーブル、アンテナなどの位置や向きを変えてください。 | - |
| AM放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none"> テレビなどから雑音が入っている。または、放送局の干渉音が聞こえる。 | <ul style="list-style-type: none"> テレビを消してください。 AM用ループアンテナの位置や向きを変えてください。 | - 10 |

保証と修理について

□保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

□修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるための、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

□依頼の際に 連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

□補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

□お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用していただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

□レシーバー部

| | |
|-------------|---|
| 定格出力： | 両チャンネル駆動 65 W + 65 W (負荷 4 Ω、1 kHz、T.H.D 0.7%) |
| 実用最大出力： | 80 W + 80 W (負荷 4 Ω、1 kHz、T.H.D 10%、JEITA) |
| 全高調波ひずみ率： | 0.1 % (定格出力 -3 dB 時、負荷 4 Ω、1 kHz) |
| 出力端子： | スピーカー：負荷 4 ~ 16 Ω、ヘッドホン / ステレオヘッドホン適合 |
| 入力感度： | 200 mV / 47 k Ω |
| 受信周波数帯域： | FM : 76.00 MHz ~ 90.00 MHz AM : 522 kHz ~ 1629 kHz |
| 受信感度： | FM : 1.2 μV / 75 Ω AM : 20 μV |
| FM ステレオ分離度： | 30dB (1 kHz) |
| FM SN 比： | モノラル : 74 dB ステレオ : 70 dB |
| FM 高調波ひずみ率： | モノラル : 0.3 % ステレオ : 0.4 % |
| トーンコントロール： | SDB : 100 Hz + 8 dB BASS (低域) : 100 Hz ± 10 dB TREBLE (高域) : 10 kHz ± 10 dB |
| 周波数特性： | ソースダイレクト ON : 10 Hz ~ 40 kHz (+ 0.5 dB, -3 dB) |

□時計 / タイマー部

| | |
|-------|--|
| 時計方式： | 電源周波数同期方式 (月差 ± 60 秒以内) |
| タイマー： | エブリディアラーム / ワンスアラーム : 各 1 系統 スリープタイマー : 最大 90 分 |

□総合

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 電源： | AC 100 V 50/60 Hz |
| 消費電力： | 48 W (電気用品安全法による) 0.3 W (スタンバイ時) |

* JEITA : (社)電子情報技術産業協会(略称: JEITA)が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。



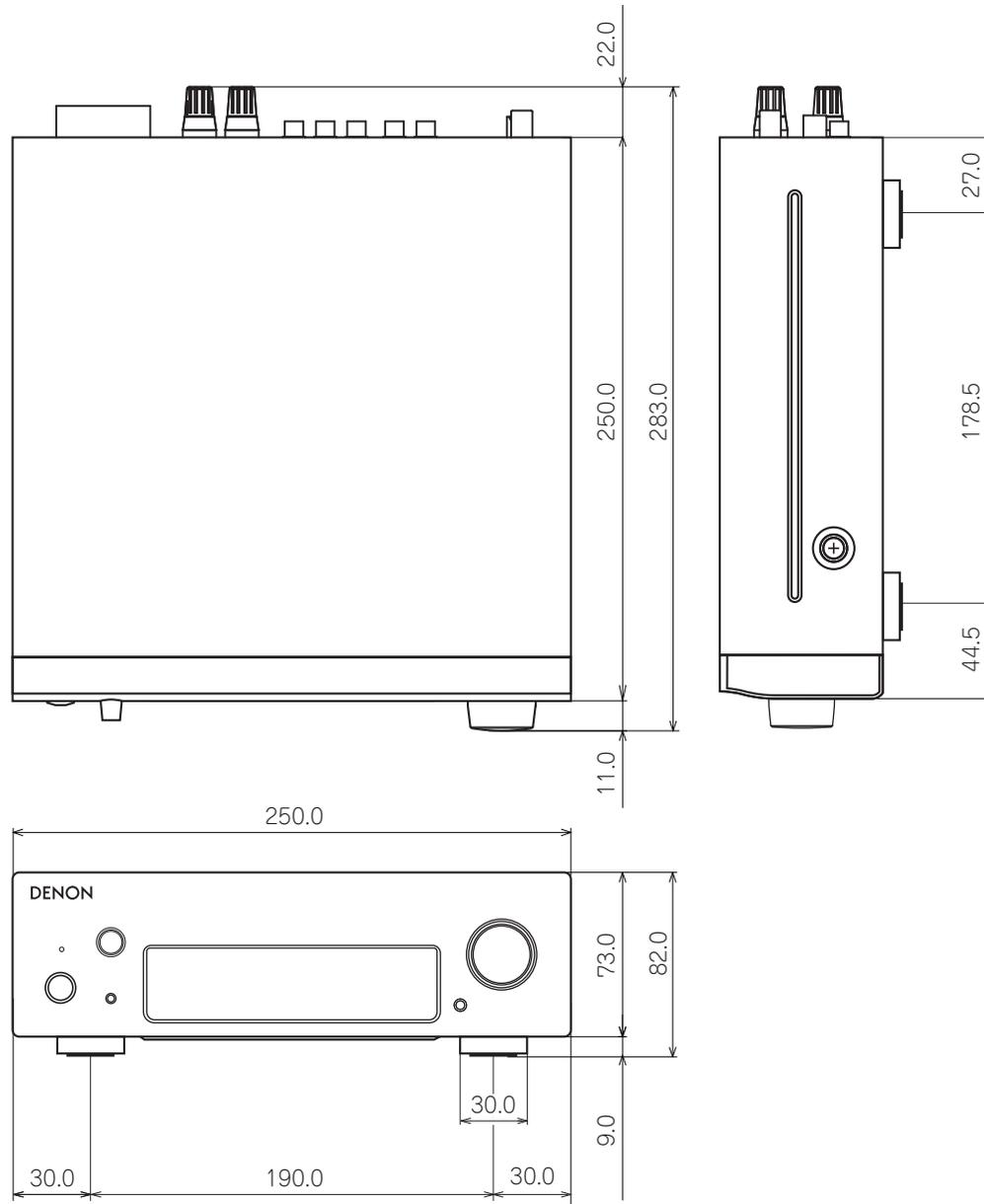
索引

| | |
|--------------|----|
| A | |
| AM 室内アンテナ | 10 |
| B | |
| BALANCE | 15 |
| BASS | 15 |
| F | |
| FM 室内アンテナ | 10 |
| S | |
| SDB | 15 |
| S.DIRECT | 15 |
| T | |
| TREBLE | 15 |
| あ | |
| アラーム | 18 |
| お | |
| 音質を調節する | 15 |
| け | |
| ケーブル | |
| オーディオケーブル | 8 |
| サブウーハーケーブル | 8 |
| スピーカーケーブル | 8 |
| 同軸デジタルケーブル | 8 |
| 光伝送ケーブル | 8 |
| さ | |
| 再生 | |
| チューナーを聴く | 16 |
| サブウーハー | 8 |
| し | |
| 時刻の合わせかた | 14 |
| 主音量を調節する | 15 |
| す | |
| スピーカーインピーダンス | 8 |
| スリープタイマー | 19 |

| | |
|---------------------|-------|
| せ | |
| 接続 | |
| CD プレーヤーの接続 | 9 |
| FM/AM アンテナの接続 | 10 |
| スピーカーの接続 | 8 |
| テレビの接続 | 9 |
| 電源コードの接続 | 11 |
| ネットワークオーディオプレーヤーの接続 | 9 |
| つ | |
| 結露について | 5 |
| て | |
| ディスプレイ | 23 |
| ディスプレイの明るさを切り替える | 15 |
| 電源を入れる | 13 |
| に | |
| 入カソース | 15 |
| ふ | |
| 付属品 | 5 |
| フロントパネル | 23 |
| へ | |
| ヘッドホン端子 | 23 |
| ほ | |
| 保護回路 | 8, 26 |
| み | |
| ミュートイング | 15 |
| り | |
| リアパネル | 23 |
| リモコン | 24 |
| 乾電池の入れかた | 26 |

寸法

単位 : mm



質量 : 2.6 kg



DENON

デノンお客様相談センター

 044-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9:30～12:00、12:45～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）
については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

<http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx>

株式会社 デイアンドエムホールディングス